

氏名	宮 庄 浩 司		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博乙第 2070 号		
学位授与の日付	平成元年 12 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	透析膜が補体，好中球エラスターゼ，および肺の酸素化能に及ぼす影響に関する研究		
論文審査委員	教授 木村郁郎	教授 太田善介	教授 寺本 滋

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

多臓器不全を有する急性腎不全患者の血液透析中に三種類の透析膜，cuprophan 膜，EVAL 膜，PMMA 膜を用いて透析膜が，補体（C3a，C4a，C5a），好中球数，好中球エラスターゼ，および肺の酸素化能に及ぼす変化を測定した。好中球数は，cuprophan 膜使用時，透析開始20分後に有意の減少を示し，補体は，cuprophan 膜，EVAL 膜で C3a，C5a の上昇を認め，好中球エラスターゼは，cuprophan 膜で透析開始60分後，120分後に有意の増加を認めた。呼吸指数は，PMMA 膜使用時のみに透析開始40分後にやや増加を認めた。

この結果，透析膜による好中球数の減少，補体の活性化，好中球エラスターゼの増加の点から考察すると，透析膜は PMMA 膜が望ましいと考えられる。しかし，透析中の肺の酸素化能の変化に関しては，呼吸指数からは透析膜による差は明らかではなかった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は透析膜の補体，好中球エラスターゼ，および肺の酸素化能に及ぼす影響について三種類の透析膜，cuprophan 膜，EVAL 膜，PMMA 膜を用いて研究したものであるが，従来十分確立されていなかった急性腎不全における有用性について比較検討したところ，好中球の減少，補体の活性化，好中球エラスターゼの増加などの軽い点から考察すると，PMMA 膜が望ましい結果をえており，重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。